



横浜市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

つるみ住宅公園は「横浜市 SDGs 認証制度“Y-SDGs”」の認証事業者です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



【監修】蟹江憲史氏

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授

慶應義塾大学SFC研究員×SDG・ラボ代表、国連大学サステナビリティ高等研究所(UNI-IAS)非常勤教授、九州私大大学助教、東京工業大学大学院准教授を経て2015年より現職。国連におけるSDGs策定に、構想段階から参画。SDGsの第一人者であり、研究と実践の両立をめざしている。日本政府持続可能な開発目標(SDGs)推進本部内閣會議議員、内閣府自治体SDGs推進評議会委員会員および地方創生SDGs官民連携プラットフォーム幹事などを務める。

つるみ住宅公園
SDGs場内ガイド
MAP

①パナソニックホームズ

創業者の松下幸之助が述べた数々の言葉は、私たちパナソニックホームズの原点であり、時代が変わった現在でも、その想いを引き継いでいます。そして、その想いは持続可能な社会の実現への取り組みの原点でもあると考え、SDGsの目標達成に貢献いたします。

②ヘーベルハウス

旭化成ホームズグループは、60年以上の長寿命を誇る「ロングライフ住宅：ヘーベルハウス」を提供し、居住されている方々の長期間にわたる快適で安全な暮らしを支援しています。これからも、多くの取り組みを通して、社会の持続的な発展に貢献していきます。

④セキスイハイム

積水化学グループは、グループビジョンの中で「地球環境の向上」「世界のひととの暮らしの向上」に対し本業である事業を通じて貢献することを宣言し、製品の創出・拡大に努めてきました。今後も持続可能な地球の実現への貢献をさらに加速していきます。



つるみ住宅公園での主な取り組み



- 会場内への供給電源は100%再生可能エネルギーで賄っています。
- ※株式会社みんな電力から青森県横浜町の風力発電を供給しています。
- 場内の緑化推進に努め豊かな緑地で未来の環境共生社会を目指します。
- ごみの分別、リサイクル等に努めています。
- 会場内をバリアフリー設計しております。

⑤ミサワホーム

子どもたちの未来のために、ミサワホームが創立以来掲げている「住まいを通じて生涯のおつきあい」。多様な変化や住まいを超えた環境への配慮が求められる、人生100年時代に、変化に対応し持続的な成長ができる住まい、技術開発を続けてきました。

⑦住友林業

先端技術で省エネ創工法の低炭素住宅をご提供しています。災害に強く社会への負荷も軽減します。温暖化対策や生物多様性保護と両立する森林経営、バイオマス発電での脱炭素社会に向けた温室効果ガス排出削減などSDGs目標に当社ならではの貢献もしています。

⑧積水ハウス

企業理念「人間愛」を礎に社会の変化やニーズに即応し、価値を創造・提案してきました。「生涯幸運に暮らすもの」「お客様の生命と財産を守るもの」「地球環境を保護し、生態系を生かすもの」といった住まいのあり方や役割に対する哲学が息づいています。